

第73回(令和2年度)岩手芸術祭『県民文芸作品集』第51集公募要項

1 趣 旨

第73回岩手芸術祭の一環として、『県民文芸作品集』を刊行し、文芸活動の振興を図る。

2 主 催

岩手県 岩手県文化振興事業団 岩手県芸術文化協会 岩手日報社
IBC岩手放送 テレビ岩手 めんこいテレビ 岩手朝日テレビ エフエム岩手

3 後 援 盛岡市 NHK盛岡放送局 盛岡タイムス社 胆江日日新聞社 岩手日日新聞社

4 運 営 第73回岩手芸術祭実行委員会

5 応募資格

岩手県在住者(経験者も含む)、岩手県出身者及び本籍が岩手県にある方
県外の応募者にあつては岩手県との関わりを記入すること。(かつて居住した岩手県の市町村名など)

6 公募種目

種 目	内 容	規 格	題名	その他 (下記参照)
			小説	1人1篇
戯曲・ シナリオ	1人1篇 ①演劇一幕もの ②ラジオドラマ ③テレビドラマ	原稿用紙50枚程度 点字は66枚程度 (①～③を明示)	1行目	(1)・(2)
文芸評論	1人1篇。研究的内容のものも可とする。	原稿用紙30枚以内 点字は40枚以内	1行目	
随 筆	1人1篇	原稿用紙4枚 点字は6枚	欄外	(1)・(3)
児童文学	1人1篇、フィクション、ノンフィクションを問わない。 少年少女詩、童謡の場合は3篇以内とする。	原稿用紙30枚以内 点字は40枚以内	1行目	(1)・(2)・(4)
詩	1人3篇以内とする。	1篇につき 原稿用紙3枚以内	1行目	(1)・(5)
短 歌	1人10首	原稿用紙1枚	欄外	(1)・(6)
俳 句	1人雑詠5句1組	ハガキ1枚又はメールにて応募のこと。 (句数が不足しないこと)	1行目	(7)
川 柳	1人雑詠7句		—	—

- 上記規格「原稿用紙」は400字詰め原稿用紙であること。縦書き、右上綴じとし、ページ番号を付すこと。行あけ等を明確にすること。
- 小説、戯曲・シナリオ、文芸評論、児童文学において、35字×35行程度に適宜割付けた場合は、400字詰め原稿用紙換算枚数を明記すること。
- 随筆の枚数は本文のみとする。題名は欄外に記入し、1行目から本文を書き始めること。題名、住所、氏名、連絡先等(「7 応募上の注意」参照)を記入した別紙をつけること。
- 児童文学については、1枚目には氏名を書かず、題名、本文から書き始めること。題名、住所、氏名、連絡先等(「7 応募上の注意」参照)を記入した別紙をつけること。
- 詩については、行あけを明確にし、欄外に1篇毎の通し番号(篇-頁:1-1、1-2、…2-1、2-2、…)を付すこと。住所、氏名、連絡先等(「7 応募上の注意」参照)を記入した別紙をつけること。
- 短歌については、欄外に題名を記入すること。住所、氏名、連絡先等(「7 応募上の注意」参照)は裏面に記載すること。
- 俳句については、雑詠5句を1組として、組の題名を記入すること。

※点字の場合、32マスの点字器を使用した場合、点字用紙片面打ち16行を1枚とする。他の点字器を使用する場合はこれに準ずること。

- 会話の部分は行を改め、「」を使用すること。
- 段落は3マス目から書きはじめ、点字用紙にページを打つこと。
- 繰返符号は用いないこと。
- 句点を入れること。
- 墨字訳に当たって使用を希望する漢字がある場合は、別紙に箇条書きにすること。

7 応募上の注意

- 未発表の創作作品であること。(公表されていたことが確認された場合には、入賞・入選を取り消すことがあります。ただし、戯曲・シナリオについては、上演済みの作品も可。)
- 原稿用紙(A4またはB4)には、ペン又はボールペンを使用し、鉛筆は使用しないこと。(ワープロも可)
- 投稿後の訂正は認めないので、推敲のうえ、かい書で清書して、完全原稿で応募すること。
- 応募作品は返却しないので、必要とする場合はコピーをとっておくこと。
- 応募作品の末尾(別紙可、短歌にあつては裏面)に、①住所、②氏名(筆名を使用する場合でも、本名を必ず記入すること)、③年齢、④性別、⑤電話番号及び(お持ちの方は)電子メールアドレスを記入すること。

8 応募締切 令和2年8月31日(月)当日消印有効(受付開始は7月1日(水)とする。)

9 応募方法(次の(1)または(2)のいずれか)

- 電子メール:geijyutsu73@iwate-bunshin.jp (第73回岩手芸術祭実行委員会事務局)
 標題に「県民文芸作品集(作品種目)応募作品」と明記し、応募作品はWord等のファイルにして添付のうえ送信すること。ただし、短歌・俳句・川柳の作品については、本文記載も可とする。
 メール送信後1週間以上、作品を受信した旨の返信がない場合は事務局まで電話で問い合わせること。
- 郵送:〒020-0023 盛岡市内丸13番1号
 岩手県民会館内 岩手芸術祭実行委員会『県民文芸作品集』係
 封筒、ハガキの表に「県民文芸作品集(作品種目)応募作品」と朱書きすること。

10 選 者

小説	立川ゆかり	小原 守夫			
戯曲・シナリオ	昆 明男	落合 昭彦			
文 芸 評 論	牛崎 敏哉	赤 崎 学			
随 筆	須藤 宏明	野中 康行			
児 童 文 学	千葉留里子	藤原 成子			
詩	花石 邦夫	糠塚 玲	東野 正		
短 歌	赤澤 篤司	折居 路子	清水 亞彦	藤井 永子	藤村 孝一
俳 句	白濱 一羊	小畑 柚流	小林 輝子	名久井清流	加藤眞治子
	北田 祥子				
川 柳	柳清水広作	あべ 和香	熊谷 岳朗		

11 賞

入賞【全種目】芸術祭賞(1点・賞金3万円)、優秀賞(1点・賞金2万円)、奨励賞(2点・賞金各1万円)
 入選【種目による】佳作、選者賞など

12 審査結果

入賞、入選者には本人宛通知する。また、入賞者は、令和2年10月2日(金)に岩手県文化振興事業団のホームページ上で発表する。

13 表彰式 令和2年12月12日(土) サンセール盛岡(予定)

14 作品の発表

入賞作品は、『県民文芸作品集』に掲載する。なお、詩、短歌、俳句及び川柳の4種目については、入選作品も掲載する。

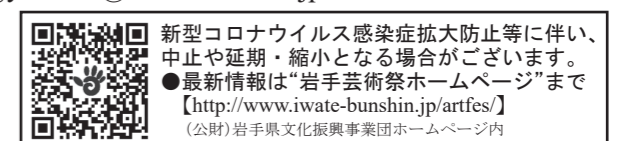
15 『県民文芸作品集』刊行予定日 令和2年12月12日(土)

16 個人情報の取り扱い

応募者の個人情報は、審査結果の公表を含む作品集刊行業務の範囲内に限り利用する。ただし、入賞、入選者については、報道機関等に氏名及び居住市町村名の情報提供を行う場合がある。

17 問合せ先

岩手芸術祭実行委員会事務局(岩手県文化振興事業団総務部内) 〒020-0023 盛岡市内丸13番1号
 電話 019(654)2235 FAX 019(625)3595 mail:geijyutsu73@iwate-bunshin.jp



第73回(令和2年度)岩手芸術祭『文芸祭』開催要項

- 趣 旨
第73回岩手芸術祭の一環として、『文芸祭』を開催し、文芸活動の振興を図る。
- 主 催
岩手県 岩手県文化振興事業団 岩手県芸術文化協会 岩手日報社
IBC岩手放送 テレビ岩手 めんこいテレビ 岩手朝日テレビ エフエム岩手
- 後 援
開催市町村教育委員会 NHK盛岡放送局 盛岡タイムス社 胆江日日新聞社 岩手日日新聞社
- 運 営
第73回岩手芸術祭実行委員会(※大会の内容に関する問い合わせは各大会事務局まで)
- 応募及び大会参加資格
岩手県在住者、岩手県出身者及び本籍が岩手県にある方
- 種目毎の大会の内容

(1)小説
日時 令和2年10月18日(日)午後1時30分～ ※10月12日までに申し込むこと。
会場 岩手県民会館第2会議室(盛岡市内丸13-1)
内容 県民文芸作品集応募作品の講評 講師 立川ゆかり 小原 守夫
事務局 第73回岩手芸術祭実行委員会事務局(岩手県文化振興事業団総務部内)
[〒020-0023 盛岡市内丸13-1 電話 019(654)2235 FAX 019(625)3595]

(2)戯 曲
日時 令和3年1月16日(土)午後1時30分～
会場 盛岡劇場タウンホール(盛岡市松尾町3-1)
参加費 未定
内容 詳細未定
事務局 高村 明彦[〒020-0051 盛岡市下太田沢田68-18 電話 090-1498-3591]
運営委員 昆 明男 倉持 裕幸 高村 明彦

(3)文芸評論
日時 令和2年10月11日(日)午後1時～5時(12時30分受付)
会場 岩手大学農学部一号会議室(盛岡市上田3-18-8)
内容 小講演と研究発表
小講演:「宮沢賢治とパンデミック」講師 牛崎 敏哉
「宗教から見る啄木・賢治」講師 望月 善次
研究発表:1～3人
★発表資格:次の1.又は2.のいずれかを満たす方
1.『県民文芸作品集(評論の部)』応募者
2.9月9日(水)までに事務局宛発表趣旨(A4判、1枚程度)と共に申し出た方
なお、希望者多数の場合は運営委員によって選考する。
参加費 無料
事務局 牛崎 敏哉[〒025-0001 花巻市天下田150-14 電話 090-2932-2628]
運営委員 牛崎 敏哉 望月 善次
その他 懇親会(参加費1,000円)

(4)随 筆
日時 令和2年11月7日(土)午後1時30分～ ※10月26日までに申し込むこと。
会場 岩手県民会館第1会議室(盛岡市内丸13-1)
内容 県民文芸作品集応募作品の講評 講師 須藤 宏明 野中 康行
事務局 第73回岩手芸術祭実行委員会事務局(岩手県文化振興事業団総務部内)
[〒020-0023 盛岡市内丸13-1 電話 019(654)2235 FAX 019(625)3595]

(5)児童文学
日時 令和2年10月25日(日)午後1時30分～午後3時30分
会場 やはばーく[矢巾町活動交流センター]大研修室(矢巾町駅東1-12-1)
内容 県民文芸作品集応募作品の選評と合評 講師 千葉留里子 藤原 成子
事務局 加藤 典夫[〒020-0883 盛岡市志家町12-1-609 電話 019(622)6304]
運営委員 千葉留里子 加藤 典夫 佐々木喜久子

(6)詩
日時 令和2年11月29日(日)午前10時～午後5時
会場 なはんプラザ[花巻市定住交流センター]会議室1(花巻市大通1-2-21)
会費 1,000円(当日受付、資料代ほか)
応募作品 未発表作品3編以内、A4判原稿用紙使用、1編につき3枚以内で右綴じのこと。
ワープロ原稿はA4判に印字のこと。尚、原稿1編につきコピー原稿を3部添付すること。選者の講評をご希望の方は84円切手を貼った返信用定形封筒に本人宛先を記入の上、同封のこと。
選者 花石 邦夫 糠塚 玲 東野 正
表彰 文芸祭賞、優秀賞、奨励賞、佳作ほか。
公募期間 令和2年7月1日(水)より9月2日(水)《必着のこと》
事務局 岩手県詩人クラブ文芸祭「詩の大会」事務局
(応募先) [〒029-2205 陸前高田市高田町宇山苗代58-8 松崎みき子 電話 0192(55)2628]
運営委員 菊池 唯子 松崎みき子 兒玉 智江

(7)短 歌
日時 令和2年10月10日(土)午前10時～午後3時頃
会場 盛岡市勤労福祉会館(盛岡市紺屋町2-9)
会費 出詠料1,000円(学生は無料)、当日会費1,000円(弁当代含む)
(後日、互選のための詠草集に同封の払込取扱票にて払い込むこと)
詠草 1首(未発表作品、はがきを使用のこと、学生は学校名を明記)
選者 稲垣 貞男 菊池 哲也 山内 義廣 山口 明子 吉田 史子
表彰 優秀作品には、文芸祭賞、優秀賞、奨励賞の賞状に、それぞれ副賞を添えて贈る。
応募締切 令和2年8月31日(月)必着
事務局 赤澤 篤司
(応募先) [〒020-0016 盛岡市名須川町11-8 電話・FAX 019(625)5874]
運営委員 赤澤 篤司 外館 克裕 山本 豊

(8)俳 句
日時 令和2年10月17日(土)午前10時～午後4時
会場 盛岡市勤労福祉会館(盛岡市紺屋町2-9)
会費 1,500円
作品 当季雑詠3句(投句締切 午前11時30分)
選者 白濱 一羊 小畑 柚流 小林 輝子 名久井清流 加藤真治子 北田 祥子
表彰 優秀作品には、文芸祭賞、優秀賞、奨励賞の賞状に、それぞれ副賞を添えて贈るほか、各選者賞を贈る。
事務局 四日市洋子[〒028-3303 紫波郡紫波町高水寺字中田16-15 電話 019(672)3835]
運営委員 山火 律子 佐々木 充 四日市洋子 工藤 幸子 和田 タケ 中村 紀子

(9)川 柳
日時 令和2年10月24日(土)午前9時30分受付開始
会場 アイーナ[いわて県民情報交流センター]501号室(盛岡市盛岡駅西通1-7-1)
会費 2,000円(記念品・昼食・発表誌)
宿題と選者(各題2句詠)
「器」富岡 敦子 選 「謎」河野 康夫 選 「握り飯」佐藤 康 選
「我慢」小原 金吾 選 「雑詠」熊谷 岳朗 選
席題と選者(各題2句詠)
「 」菅原 千瑛 選 「 」鷹嘴 関雄 選
賞 文芸祭賞、優秀賞、奨励賞ほか
欠席投句 用紙自由。住所・氏名(雅号)・電話番号を明記のうえ下記事務局まで。
1,000円の定額小為替を同封のこと。(10月17日(土)消印有効)
事務局 伊藤 豊志[〒027-0028 宮古市神林5-25 電話 0193(62)1137]
運 営 岩手県川柳連盟

